

じんもんこん(;-) 2008

人文科学とコンピュータシンポジウム

サービス指向の デジタル技術へ ～人文科学のポテンシャル～

2008 12/20(土), 21(日)

筑波大学春日キャンパス
〒305-8550
茨城県つくば市春日1-2

入場無料
シンポジウムのみ有料
(料金はWebページをご覧ください)

20日(土)

基調講演 (入場無料)

13:30-14:30

世界観の発見

～文化財の魅力を引き出す展示デザイン～

講演者: 木下史青 (展示デザイナー)

東京国立博物館

学芸企画部企画課デザイン室長

略歴

1965年生

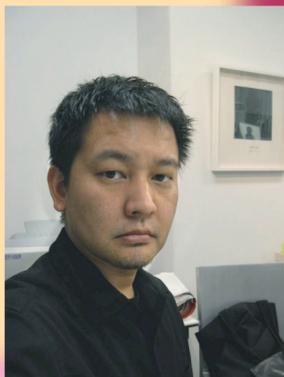
東京藝術大学大学院環境造形デザイン専攻修了

1998年より東京国立博物館勤務

日本で初めての博物館展示デザイナーとして活躍中

東京国立博物館のリニューアルや「平城遷都1300年記念 国宝 薬師寺展」など
数々の展示のデザインを手がけ、成功に導く。

展示と向き合うその真摯な仕事ぶりはTBS「情熱大陸」でもとりあげられた。



21日(日)

パネルディスカッション (入場無料)

16:00-17:20

魅せるサービス、輝く資料

コーディネーター: 宇陀則彦 (筑波大) 電子図書館システム

パネリスト: 北本朝展 (NII) デジタルシルクロード

杉原太郎 (北陸先端大) 文脈依存的ユーザ行動分析

曾我麻佐子 (龍谷大) バレエの振付シミュレーション

綿抜豊昭 (筑波大) 図書館学、図像学

シンポジウム (有料)

20日(土)

人文系知識の概念モデル

文化情報の提供と支援

文化情報の記述と検索

地域情報の再現と利用

言語と知識利用

画像資料と情報記述

21日(日)

データベースと解析

動作情報の利用

文字・言語とモデル

文化財の復元表現

問い合わせ

じんもんこん 2008 事務局

chs-08@slis.tsukuba.ac.jp

<http://www.slis.tsukuba.ac.jp/chs08/>

主催: 情報処理学会 人文科学とコンピュータ研究会

共催: 筑波大学大学院 図書館情報メディア研究科

後援: 電子情報通信学会、日本図書館情報学会、日本行動計量学会、日本情報考古学会、情報メディア学会、情報知識学会、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、

日本アーカイブズ学会、記録管理学会、アート・ドキュメンテーション学会、日本統計学会、日本計算機統計学会

協賛: ナレッジ・シナジー、リコーソフトウェア、インフォコム、ニチマイ、ディスクロージャー・イノベーション、堀内カラー、NSソリューションズ東京、科学技術振興機構、コンテンツ、ヤトロ電子、ユサコ、オーシャンブリッジ